

研究テーマ

「がん患者・家族に関する研究」

～ がんになっても安心して暮らせる社会の構築をめざして～

当研究室では、住み慣れた地域でがん患者と家族が望む生活の実現に向けて、総合的な判断と組織的な問題解決能力を培い、高度の看護実践を行うための看護を探求します。

がん看護CNSコースと研究コースの2つがあります。現在CNSコース3名、研究コース1名の大学院生が在籍しています。CNSコースは日本看護系大学協議会の38単位教育課程の認定を受けています。

主な研究テーマ

- グループ介入による援助プログラムの開発に関する研究
- 外来チーム医療システムに関する研究
- がん治療を受ける患者・家族の療養生活を地域で支える連携システムモデルの構築に関する研究

主な担当講義科目

質的研究方法論、看護理論特論、実践看護学特論Ⅰ・Ⅱ、実践看護学演習Ⅰ・Ⅱ
がん看護学特論Ⅰ～Ⅲ、がん薬物療法看護論、がん薬物療法看護演習、緩和ケア論、緩和ケア演習、がん看護学実習Ⅰ～Ⅴ

研究紹介

患者ががん治療を受けながら療養生活上の様々な問題を自ら解決し、住み慣れた場で安心して自分らしい生活を送ることができるための研究を行っています。グループ介入による援助プログラムの開発や外来チーム医療システムの構築、さらに現在は、がん治療を受ける患者・家族の療養生活を地域で支える連携システムモデルの構築に関する研究をすすめています。

大学院進学を希望する方へひと言

これまでの看護実践の中で、これでよかったのかと悩んだり、自分の力が足りないと感じたこと、その経験を大切にしてください。大学院では、臨床経験を振り返り、何が足りないのか、どうしてなのか、ケアを改善するためにはどうすればよいのかについて、理論や概念を活用して考え、がん患者さんと家族のケアについて探求していきます。がん看護を深めたいと考えている方、ぜひ一緒に学んでみませんか。お待ちしております。

大学院生の声

- ◎ 私たちは、がん看護CNSコースを専攻しています。臨床での課題や疑問をきっかけとしてテーマを決め、先生方から指導・助言を頂き課題研究に取り組んでいます。がんと診断されてからあらゆる時期のがん患者・家族を支援するため、臨床経験を振り返りながら、全人的苦痛の理解や患者・家族のQOLの維持・向上について日々考え、臨床でエビデンスに基づいた看護実践ができるよう学びを深めています。
- ◎ 私は現在、仕事をしながら大学院に通っており、辛く感じるときもありますが、指導教員からご指導いただき、無理なく仕事と学業の両立ができています。大学院では教員や同期の仲間と「看護」「研究」「教育」について自らが学習したことを語り合い、自身の看護を振り返ることで新たな気づきを得たり、「学ぶ」意味を考えその大切さを実感しています。また、大学院での学びの一つ一つが自身の人間性を磨くことにもつながっていると感じ、とても充実した日々を過ごしています。